

ESD-J 会員のみなさま

本日からニューヨークで国連総会が開催され、今週はハイレベル・ウィークであり世界の首脳がニューヨークに集まります。

その一環として、2023年SDGsサミットが9月18日、19日にかけてニューヨークの国連本部で開かれます。

ちなみに、日本とニューヨークとの現在の時差は13時間です（日本の方が13時間進んでいます。）。

2030年までの変革的かつ加速された行動に関するハイレベルの政治的ガイダンスにより、SDGsに向けた進展の加速化、新しい段階の開始を目指します。SDGsサミットは、国連総会議長により召集され、2030アジェンダと持続可能な開発目標を達成するために設定された期間の中間年に行われ、ハイレベル・ウィークの目玉になります。このサミットにより、世界が直面している複数の連動する危機の影響に対応し、2030アジェンダへの希望、楽観主義、熱意を再燃させることが期待されます。

SDGsサミットの公式会議は以下のサイトから視聴可能です。

<https://media.un.org/en/webtv>

SDGsサミットで採択される政治宣言については、これまで何度か議論が行われてきました。

現時点での公開されている最終案（と思われるもの）は、以下のURLからダウンロードできます。

<https://www.un.org/pga/77/wp-content/uploads/sites/105/2023/07/SDG-PD-Final-19-July-2023.pdf>

また、SDGsサミットに関する様々な情報は国連のウェブサイトから入手可能です。

<https://www.un.org/en/conferences/SDGSummit2023>

【参考】変革に向けたコミットメントを求める国連事務総長の書簡

誰も置き去りにしないという持続可能な開発のための2030アジェンダの定義・原則は、地球上のすべての人の健康で繁栄する権利と幸福を確保するというすべての国の共通の約束です。しかし、2030年の期限の半ばで、その約束は危機に瀕しています。

SDGサミットは、進路を変え、レトリックから行動に移り、より良い世界へと突破する重要な機会を提供します。政府の指導者とすべての利害関係者は、目標を達成するために必要な変革を推進し、私たちが正しい選択をし、私たちと一緒に前

SDGsサミットに関連する文書は、以下のURLからアクセスできます。

<https://www.un.org/en/conferences/SDGSummit2023/documentation>

特に、国連事務総長によるGlobal Sustainable Development Report 2023（「危機の時代、変化の時代:持続可能な開発への変革を加速するための科学」）に関する情報は、以下のURLからダウンロードできます。

<https://sdgs.un.org/gedr/gedr2023>

2023年グローバル持続可能な開発報告書

(GSDR)「危機の時代、変化の時代:持続可能な開発への変革を加速するための科学」は、2030年に向けた中間年のこの重要な岐路では、漸進的で断片的な変化では残りの期間でSDGsを達成するには不十分であると指摘しています。2030アジェンダの実施には、政治的リーダーシップの積極的な動員と科学に基づく変革への野心が必要です。これはグローバルに達成されなければなりません。国、社会、または人を置き去りにしてはいけません。この報告書は、SDGsに向けた進展を加速するために必要な緊急性を備えた変革を受け入れるよう促しています。GSDR 2023は、さまざまなセクターで必要とされる主要な変革に焦点を当て、SDGsに向けた進展のための文献、実践的な例、およびツールからの重要な調査結果を提供しています。時間の経過に伴う変革プロセスを解き明かし、体系的かつ構造化されたアプローチを通じて変革の様々な段階を促進する上でのレバターの役割を説明するのに役立つモデルを提供しています。歴史が示すように、変革は避けられません。このレポートは、意図的で望ましい変革が可能であり、実際に必要であることを強調しています。

GSDR 本文 (224 ページ)

https://sdgs.un.org/sites/default/files/2023-09/FINAL%20GSDR%202023-Digital%20-110923_1.pdf

進させれば、将来に前向きな変化をもたらすことができるという私たちの希望と認識を新たにするための野心を強化する必要があります。

この目的のために、国連事務総長は、今後数年間で包摂性と持続可能性のためのSDG変革を推進するのに役立つ国内および世界的なコミットメントを発表することを含め、サミットで人と地球のための救済計画の実施を支援するよう世界の指導者に要請しました。呼びかけのフォローアップとして、事務次長は、今年9月にそのようなコミットメントを提出する予定の国に追加のガイダンスを提供するために、国連のすべての加盟国常駐代表および非加盟国の常任オブザーバーに書簡を送り

ました。加盟国向けのガイダンスノートは以下にあります。

<https://hlpf.un.org/sites/default/files/2023-06/Guidance%20Note%20on%20National%20Commitments.pdf>

各国は、国家元首と政府首脳の貢献を通じて、SDG サミットで SDGs 変革への国内および世界的なコミットメントを発表し、これらのコミットメントを SDGs Summit Acceleration and

Accountability

Platform

(<https://sdgs.un.org/SDGSummitActions>) に登録することが奨励されます。加盟国は、また、自主的な国家レビュープロセスを含む既存のフォローアップおよびレビュープロセスを通じて、これらのコミットメントの実施について報告することが奨励されます。

(仮訳・解説：ESD-J 理事 鈴木克徳)